

融雪出水にご注意ください

今年の冬は気温が高く、街中の融雪は進んでいますが、山間部は雪がまだ残っています。3月下旬から5月上旬にかけては以下のようなことから川の水位が上がる可能性がありますので注意してください。

- ・急激な気温上昇による融雪と強い風や降雨を伴った場合
- ・残雪等の影響により川が狭くなった場合

水難事故は融雪時期に多い！？

水難事故の発生時期は融雪期の河川が増水している時期に多く起こっています。川への滑落など思わぬ事故の危険性がありますので近づかないようにお願いします。



融雪時期の幾春別川

樋門操作員会議を開催しました

地域の生命や財産を守るため、地先の方に各樋門の操作員を委嘱しています。洪水時に樋門操作が確実に行われるよう「樋門操作員技術指導会議」を2/25に開催し108人の操作員に参加してもらいました。

今年度の道内河川における出水状況などについて説明するとともに、日本気象協会の気象予報士から空知の気象の特徴を解説していただき、出水前の準備について話し合いました。

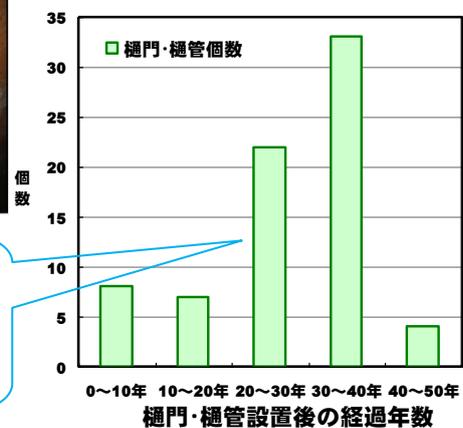


樋門とは？

排水路や支川の水を川へ流すために、堤防内を横断する施設。河川の水位上昇時には河川水の逆流を防ぐためにゲートを閉め遮断します。



固体劣化状況(剥落)



寒冷地の構造物は凍結融解を繰り返すため、損傷を受けやすい状況です

管内樋門の特徴

管内には144樋門がありますが、多くは老朽化が進んでいます。岩見沢河川事務所では点検を行い計画的に補修や改築を進めています。

旧美1号樋門の改良工事が終わりました(フラップゲート化)

フラップゲートとは？

堤防の川側と宅地側の圧力差を利用した自動開閉式の樋門ゲートです。水位変動に追従し、ゲリラ豪雨等に伴う急な水位上昇にも自動で対応することができます。また、操作員の高齢化や後継者不足も課題となっており、操作員の負担軽減を目的に樋門のフラップゲート化を進めています。



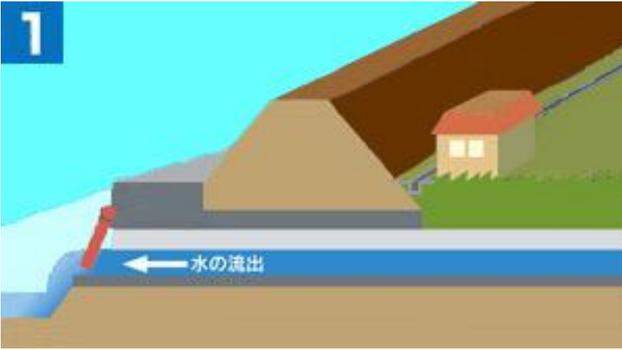
工事前(手動開閉式)



工事後(自動開閉式)

樋門のしくみ（フラップゲート版）

（平常時）



普段は、住宅地や農地からの雨水や用水を、排水路から樋門を通して川に流すためゲートは開放しています。

（洪水時）



洪水時には、川に雨水が集まり、水位がより上昇し、排水路に逆流する場合があります。逆流に伴い水害が発生するのを防ぐため、ゲートが閉まります。

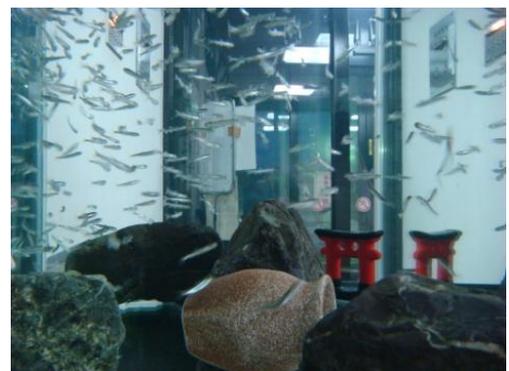
（洪水後）



ゲートが閉じている間に溜まった水は、川の水位が堤内排水路の水位よりも低下し、逆流の心配がない状態になるとゲートが開き再び川に流れます。

鮭の稚魚の育成状況

岩見沢河川事務所では 12 月からサケの発眼卵を飼育しています。1 月に孵化し今では元気に泳ぎ回るまでに成長しました。4月10日には「幾春別川をよくする市民の会」主催のサケの稚魚放流があります。春先は油流出事故が多く、稚魚への影響は大きいとされています。稚魚が元気に川を泳げるよう河川環境の維持にご協力をお願いします。



水槽を元気に泳ぎ回るサケの稚魚

編集後記 H26採用職員 この一年を振り返って

計画係 米森 一貴

地域の皆様に河川管理の仕事や安全管理について理解して頂けるよう自分も勉強しながら編集してきました。川に近づいた際に記載されていたことを思い出して頂けると更に川に親しみやすくなるかと思えます。これからもきれいな川の利用をお願いします。

維持補修係 齊藤

地域の防災意識の向上には、「一人一人が興味を持つことから」と思い、川に興味を持って頂けるよう意識しながら作成してきました。管内では河川を通じた参加型イベントも多く実施されています。ぜひ、ご家族で参加し、川とふれあってみてください。

お問い合わせ先

国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部 岩見沢河川事務所 計画課
〒068-0007 岩見沢市7条東9丁目3番1号 TEL : 0126 (23) 9555



国土交通省